

## 中学生向け絵本づくりワークショップの実施報告

## 1 概要

「絵本づくり」の作成に携わることにより、子どもたちの表現力、豊かな想像力を育むとともに、絵本をきっかけとして、読書活動や「絵本のまち板橋」の推進へとつなげるため、区内の中学生を対象に、全4回の絵本づくりワークショップを行った。

児童文学作家の川北亮司氏による絵本づくり講義のあと、参加者自身が絵とストーリーを考え、区内印刷・製本企業の協力のもと、本格的な絵本を作成した。

## 2 開催日時

日 程	内 容
8月2日（日）	第1回「児童文学作家 川北亮司氏による絵本づくり講義」
11月1日（日）	第2回「原画・原稿の確認【入稿】」
（11、12月）	（株式会社オフセット岩村にて印刷）
1月17日（日）	第3回「大村製本株式会社にて製本作業体験」
2月7日（日）	第4回「川北亮司氏による講評、作品発表会」

## 3 参加者数

23名（22作品）

## 4 作品展示

3月4日（木）から開催される「いたばし子ども絵本展」で展示する



## アンケートでの主な意見・感想

### (1) 楽しかった点

- ・他の人のいろいろな作品を見られたこと、自分の考えたものが実際に作品となったこと。
- ・本格的な紙に絵が描けたこと、自分の絵が形になった所。
- ・本を作る場所で、いい感じに調合したのりを使って本の表紙を完成させることが楽しかったです。
- ・提出日直前にめちゃくちゃがんばったこと。

### (2) 苦労した点

- ・絵を描くこと。物語を考えること。
- ・色ペンを普段使わないから、どうなるか気にしながら描いたところ。
- ・締め切りまでに間に合わせること。

### (3) 感想など

- ・私は今回のこのイベントを経て、絵本作りが大変だということを、改めて実感しました。また、計画性の大切さも学び、今度からテスト勉強なども、計画的に行おうと思いました。
- ・絵本の作り方を知ることができてよかった。
- ・今回、ワークショップに参加させていただいて、めったにできない体験が出来た事を嬉しく思っています。今まで作文などはした経験がたくさんあったのですが、絵をそえて一から作品を個人で作ることはありませんでした。そのため、分からないことや難しいことが多く、苦労したこともありましたが、最後までやりとげたことに大きな達成感を感じましたし、自分の自信にもつながりました。そして、一步成長することができたと思っています。
- ・“楽しそう” この1つで申し込んだが、最初は“楽しい”というより大変だった。しかし、それを乗り越えたためいい作品が完成したのだと思う。申し込んでよかった。来年もぜひ参加したい。また参加できた時はぜひ、まわりの人の工夫を参考にして作りたいと思った。
- ・絵本を描くのは思ったよりきつくてたいへんだった。川北亮司先生みたいな絵本作家、小説家、マンガ家は、たくさん描いていてすごいと思うし、えらいとも思う。たいへんだったけれど、またやりたいと思う。

担当

いたばしBOROニャ子ども絵本館

TEL 6281-0560